

はるかぜ ネットワーク

3月号

Vol.359

2026年2月28日発行



診療報酬改定でも進む

「医療・介護DX」

～より安全で、つながる医療へ～

節分制作／講座開催報告	4
脳トレで老化予防／職員紹介	5
健康サポート隊 139／お薬の話	6, 7
第314回 春風狂句	8
生活に寄り添ったりハビリの提供	9
生活機能向上への取り組み	9
看多機活動日記／サ高住だより	10
防災訓練を実施しました	11
管理栄養士からレシピが届きました	11
心を磨く 美化委員	12

◆ お知らせ・ニュース ◆

※ 受診の際は、マスクを着用・手指消毒を励行し、検温と問診に引き続きご協力をお願いします。

- ・3月 1日(日) 春日クリニックは休日当番医のため9:00～17:00まで診療を行います。
- ・3月18日(水) 14:00～はるかぜホールにて第111回おりひめの会が開催されます。
- ・3月24日(火) 清田院長が午前中不在となります。

(写真掲載につきましては、ご本人・ご家族のご了承を得ています)

診療報酬改定でも進む「医療・介護 DX」

～より安全で、つながる医療へ～



2026 年度は診療報酬改定の年にあたります。診療報酬とは、医療機関が提供する医療サービスの内容や評価を国が定める制度で、原則 2 年ごとに見直しが行われています。

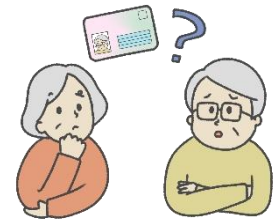
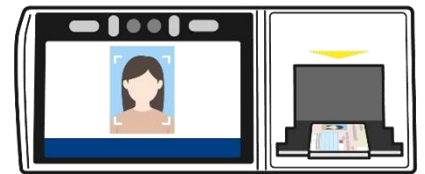
今回の改定では、「医療 DX（デジタル化）の推進」が 1 つの重要なテーマとなっています。国（厚生労働省）は、デジタル技術を活用しながら、より安全で質の高い医療体制の整備を進めています。

「医療 DX」とは？ なぜ DX が必要なのか？

昨年、はるかぜネットワークでも一度お伝えしましたが、DX とは「デジタルトランスフォーメーション」の略で、わかりやすく言えば、「デジタル技術を活用して、仕組みをよりよく変えていくこと」といえます。

医療分野では現在、「マイナ保険証によるオンライン資格確認」「電子処方箋の普及」「電子カルテ情報の標準化」「医療情報の共有基盤づくり」などが段階的に進められています。診療報酬制度の中でも、「医療 DX 推進体制整備加算」など、医療機関のデジタル対応を評価する仕組みが設けられています。

現在、DX 化が進められている背景には、高齢化の進行や、医療・介護を担う人材の不足、地域医療体制の維持、といった課題があります。デジタル化を進めることにより、医療の安全性が向上したり、重複投薬・重複検査を防止したり、医療機関同士の情報連携をスムーズにしたり、災害時の情報保全といったことも期待されています。



医療分野だけでなく、介護分野でも進む DX

医療の診療報酬改定は 2 年に 1 回ですが、介護報酬改定は 3 年に 1 回行われています。本来であれば、介護報酬改定は来年の予定ですが、実は 2026 年度には「期中改定（臨時の見直し）」が検討されています。これは、介護人材の確保や物価高騰への対応が大きな柱になっているものの、「ICT（情報通信技術）の活用促進の必要性」と行った課題も加味されての見直しが検討されています。

介護情報の電子的共有基盤の整備もこの数年で急激に進められています。これまで紙や FAX でやり取りされていた介護に関する情報をオンラインで一元的に共有する仕組みが「介護情報基盤」というもので、利用者・市町村・介護事業所・医療機関などがこの基盤を通じて繋がることで、必要な情報をリアルタイムで確認できるようになります。2026 年 4 月から、準備の整った自治体・事業所から順次スタートされる予定になっており、将来的には医療と介護の情報連携がより円滑になることが期待されています。



医療と介護が「つながる」時代へ

医療と介護の情報がスムーズに共有できるようになることで、入退院時の連携強化や、在宅医療と介護の連携向上、切れ目のない支援体制の実現が目指されています。単に業務を効率化するためだけでなく、より安心できる医療・介護体制をつくるための取り組みが「医療・介護のDX」なのです。

ただし、このDX化は一筋縄ではいきません。DX化に際しては莫大な費用がかかるため、ただでさえ物価高騰にあえぐ医療・介護事業所には非常に負担が大きいものです。端末をそろえたり、ソフトを導入したり、情報セキュリティの問題もあります。また、利用する側、特に高齢者にとってもDX化は不安要素が大きく、実際に端末を問題なく操作できる人は非常に少ないのが現状です。ただし、DX化の流れは止めようがなく、事業所側の意志とは関係なく、どんどん進んでいきます。私たちも必要な情報を患者さん・利用者さんに随時発信しながら取り組みを進めていきます。



まずはハード面の整備からスタート

春日クリニックグループでも、少しずつDX化の準備を進めていきます。2月18日には外来診療部で使用するパソコンが一新されました。新しいパソコンに切り替わり、また通信配線の整理を行いながら、来たるべき転換に備えていきます。また、介護事業所のパソコンや介護ソフトも、今年早い段階での切り替えを検討しています。制度の動向も踏まえながら、できることをコツコツと、必要な体制整備に努めていきます。



機械には真似できない、あたたかい繋がりを

～ 2月3日 豚団子汁を作りました ～



いろいろなものが機械化・電子化され、人との生身の繋がりが希薄になってきている今日この頃。しかし、医療・介護の現場ではやはり、人と人が直にふれあい、心を通わせるあたたかい場面がたくさんあります。先日、杏心の丘入居者の竹中さんからは杏心農園で育てた大根を、外来や訪問看護を利用されている岩崎さんからは団子粉をいただき、せっかくならみんなで何か作ろうと、昨年に引き続き、職員有志で「豚団子汁」を作ることにになりました。

自宅の一番大きな鍋を持ち寄り、当日は朝から仕込みを開始。総監督の院長も自ら大根を切り、他スタッフも各自分担しながら作業を進めていきました。出汁や具材の揃ったところで煮込み始め、昼食に合わせて出来た豚団子汁はなんと100食分。竹中さんや岩崎さんの愛情がこもった食材と、「楽しみたい、楽しんでもらいたい」という職員みんなの気持ちが隠し味となり、出来た豚団子汁の味は当然ながら最高に美味しかったです。





鬼は外！福は内！節分制作

デイサービスセンターはるかぜ

デイサービスセンターはるかぜでは 2 月 3 日の節分の日に合わせて、ペットボトルの蓋を利用し、手作りの『鬼の壁面』を制作しました。利用者みなさんで、切る作業や貼る作業を分担して、協力しながら完成を目指しました。赤鬼、青鬼の可愛い鬼がそれぞれ完成し、「可愛い鬼が出来たね〜！」と皆さん喜んでおられました。完成後は、制作した鬼の壁面に向かって「鬼は〜外！福は〜内！」と玉を投げて邪気を追い払い、皆さんの笑顔によって今年も多くの福を呼び込むことができましたようです。今年も、季節に合った楽しい催しをどんどん行なっていきたいと思います。どうぞご期待ください。



1 月 28 日（水） 上野真理子先生 アクセスバズ講座を開催しました



春日クリニックで第 1 回目の 1 日講座を開催しました。今回は 4 人のプラクティショナーが誕生しました。最年少は小学 6 年生。全員上手にアクセスバズができるようになりました。1 月はある小学校で 1 コマ授業もさせていただきました。道具も要らず、こどもたちも誰でもどこでもできるのはアクセスバズの魅力の一つです。みんなで簡単に心も身体も元気でい続ける、それは決して難しいことではありません。

意識が変わると世界の見え方も変わります。体調がよくなるのはもちろんですが、日々の小さな幸せに気づけるようになり人生の解像度が上がります。学びを深めるたびにこの感動を伝えたいくなります。これからも体験会や講座を続けていきますので、ぜひ一緒に心も身体も元気いっぱいのお話を聞いていきましょう。





脳トレで老化予防！

脳トレで、脳を元気にしましょう！



問題) 次の計算をして、()に答えを書きましょう。

- ① $27+51 = (\quad)$ ② $30-16 = (\quad)$ ③ $19-5+46 = (\quad)$
 ④ $38-14 = (\quad)$ ⑤ $25+63 = (\quad)$ ⑥ $74+7-16 = (\quad)$
 ⑦ $12 \times 4 = (\quad)$ ⑧ $36 \div 6 = (\quad)$ ⑨ $48 \div 4 \times 2 = (\quad)$

脳トレのこたえはページの下に



日常生活自立支援事業について

日常生活自立支援事業は、高齢者や障がいのある方々が、住み慣れた地域で安心して自立した生活を送れるように、福祉サービスの利用などに係る相談やお手伝い（援助）を通して、その生活を支援する事業です。今回はこの“日常生活自立支援事業”についてお伝えします。

〈ご利用できる方〉

- 熊本市内で在宅生活をされている方
 - 認知症・知的障がい・精神障がいなどにより、日常生活上の判断に不安がある方
 - 契約の意思があり、契約の内容を理解できる方
- (契約内容が理解できないほど判断能力が低下されている場合は、利用する事が難しくなります。)



〈サービス内容〉

- ① 福祉サービスの利用や手続きの援助
- ② 日常的金銭管理サービス
 - 年金および福祉手当の受領に必要な手続き
 - 医療費を支払う手続き
 - 税金や社会保険料、公共料金を支払う手続き
 - 日用品の代金を支払う手続き
 - 上記の支払いに伴う預貯金の払い戻し、
または預け入れの手続き
- ③ 書類等の預かりサービス
年金証書、預貯金の通帳、契約書類、保険証書、銀行印等、大切な書類を預かり、銀行の貸金庫へ保管



〈利用料金について〉

- 相談から契約までは無料。サービス開始より下記の金額が必要です。
- 福祉サービス利用援助・日常的金銭管理サービス
→1回1時間あたり900円
 - 書類等の預かりサービス
→1ヶ月につき250円

ご利用を検討される際は、ケアマネジャーや各区の社会福祉協議会事務所へご相談ください。



- ※ 社会福祉法人熊本市社会福祉協議会 日常生活自立支援事業パンフレット参照
- ※ 介護保険サービスの利用や申請などもお気軽にご相談ください。(はるかぜ居宅 山田)



新しい仲間が加わりました

はるかぜ通所リハビリテーション

1月から杏心の丘の看護小規模はるかぜより通所リハビリテーションへ異動になりました、西村祐貴と申します。これまで色々な部署等を経験してきましたが、リハビリが主な所は今回が初めてであり、慣れないことだらけですが頑張っ覚えていきたいと思ひます。お話を通してみなさんの名前・顔・好み等を把握していきたく思ひますのでお気軽に話しかけてください。こちらからもどんどんお声がけさせていただきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひします。



健康サポート隊!

その139

人生をハッピーに ～幸せへの道～

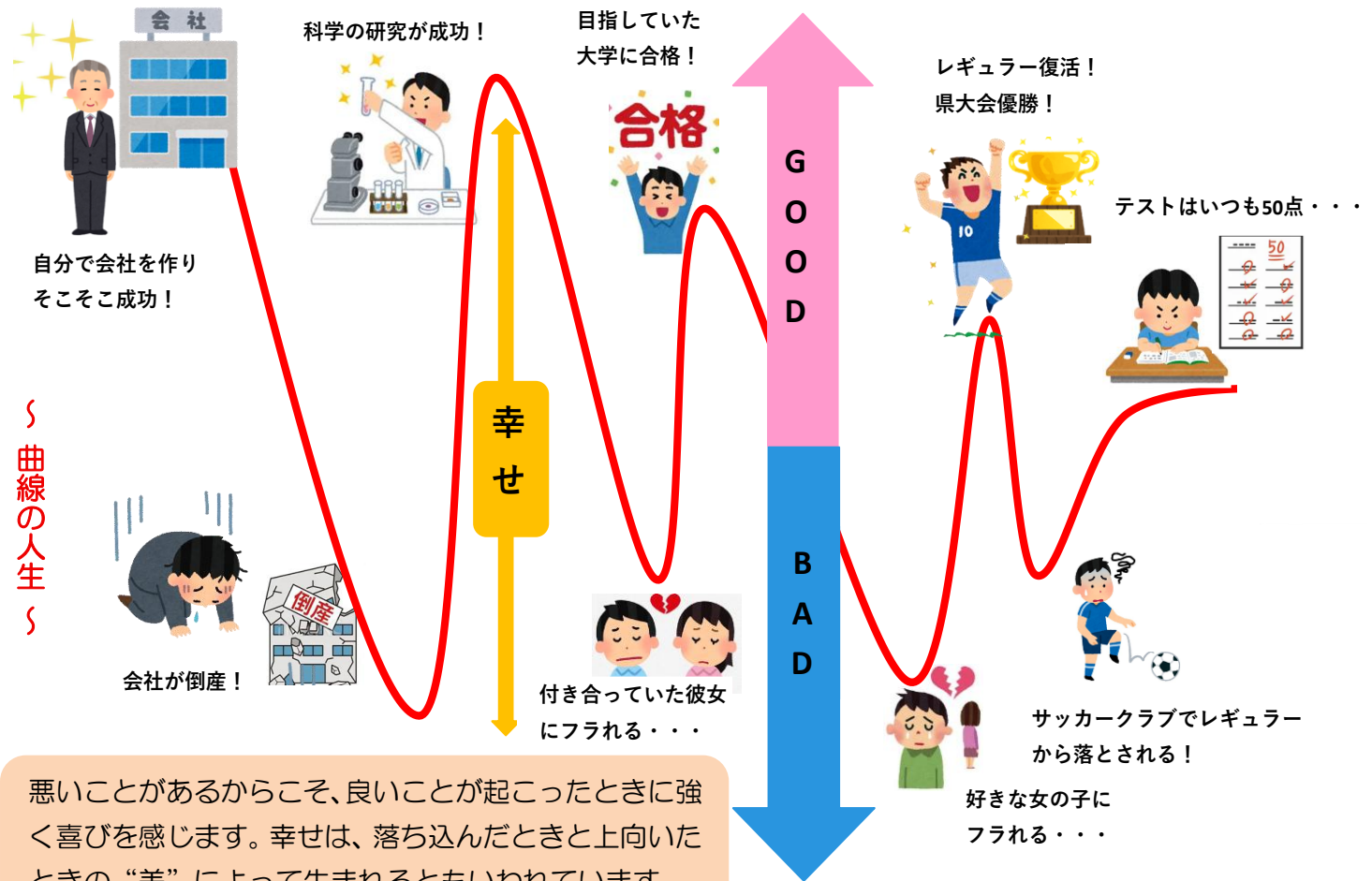
外来診療部



春らしい暖かい日が増えてきました。春は出会いと別れの季節であり、心が疲れやすい時期でもあります。「楽しくない」「幸せなのかわからない」と感じることもあるでしょう。しかし、幸せは向こうから来るものではなく、自分で見つけ、感じ取るものです。今回は、“幸せ”とは何か、その見つけ方について考えてみたいと思います。

幸せとは

自分が歩む道を「人生」といいます。直線の人生と曲線の人生（下図参照）、どちらが幸せでしょうか？



悪いことがあるからこそ、良いことが起こったときに強く喜びを感じます。幸せは、落ち込んだときと上向いたときの“差”によって生まれるともいわれています。

今すぐできる幸せレッスン ～ 実践編 ～

① 心の中で「ありがとう」と言ってみましょう

見えること、話せること、食べられること、家族や仲間がいること・・・

これらを当たり前と思えることは、実はとても幸せなことです。

今あるものに感謝すると、日常の中にある幸せに気づけます。⇒『灯台下暗し』



② 毎日笑顔で過ごしましょう

幸せは明るい人のもとに集まります。笑顔には人を引き寄せる力があります。笑顔でいることで、良い出来事も引き寄せられるでしょう。⇒『笑う門には福きたる』



③ どんなことにも楽しみを見つけましょう

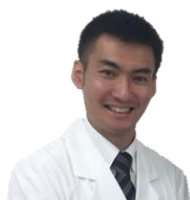
同じ出来事でも、受け止め方で気持ちは変わります。「千円しかない」と考えるか、「百円の十倍もある」と考えるか。「休みが半分しかない」と思うか、「まだ半分ある」と思うか。悲観的にとらえるとやる気を失い、楽観的にとらえると前向きな行動につながります。できればプラス思考で過ごしたいものです。

幸せは遠くにあるのではなく、足もとにあります。お金や地位を求める人もいれば、家族との時間に幸せを感じる人もいます。幸せは心の中にあり、自分がどう感じるかで決まるのかもしれませんが。今日も明日も笑顔で過ごし、一人でも多くの方が「幸せだ」と感じられることを願っています。



看護師 中西

(参考文献：こころのふしぎなぜ? どうして? 著者：村山哲哉 高橋書店)



甲斐先生のおくすりのほなし。



花粉症（アレルギー性鼻炎）の薬

今年も花粉症の季節がやってきました。今回は花粉症の薬について改めてみていきたいと思います。

1 どのような薬（対症療法）があるの？

よく使用されるのが鼻水・くしゃみ、かゆみなどの症状を抑える「抗ヒスタミン薬」とよばれるものです。花粉の時期によくCMで流れるのはこの種類の薬です。「点鼻ステロイド」もよく使用されます。点鼻ステロイドは鼻水・くしゃみだけでなく鼻づまり（鼻閉）にも効果があり、花粉症の症状全般に対して効きます。そして、内服薬ではないためステロイドの副作用が全身に出ることはまずありません。ただし、市販の点鼻ステロイドには血管を収縮させる成分が混ざっているものがあり、こちらは長期間使用しないよう注意する必要があります。他にも鼻閉に効果のある「抗ロイコトリエン薬」、そして「漢方薬」も症状や全身状態に合わせて使用されます。

2 いつ飲み始めるのが良いの？

まず薬の特性として、「抗ヒスタミン薬」および「漢方薬」はわりと効果を早く実感できると思われれます。一方、「点鼻ステロイド」や「抗ロイコトリエン薬」は実感できるのに1週間程度、もしくはそれ以上かかる場合があります。

鼻水やくしゃみの症状が一番気になるけれどそこまでひどくないのであれば、症状が気になりだしてから即効性のある薬の服用を開始するの

で問題ないでしょう。そして花粉の飛散が多い間は服用を続けることで継続的に症状を抑えることができます。鼻づまりがつかく「点鼻ステロイド」や「抗ロイコトリエン薬」を使用する場合は、効果を感じるのに少し時間がかかるため、使用を継続する、または1～2週早めに使用を開始するとよいでしょう。

また、「抗ヒスタミン薬」には2種類の効き方があることを知っておくとよいです。1つは花粉症の症状を起こすシグナルを伝達する「受容体」にフタをするという作用。この効果はわりと即時的で、薬を飲んですぐ効果を実感できる根拠となっています。そしてもう1つは「受容体」自体の数を抑える作用。専門的には「インバースアゴニスト効果」といい、これによって受容体自体の数を少なくできるため、症状を起こす信号がきてもすべてに対応ができず、結果的に症状が抑えられるというわけです。ただし、このインバースアゴニスト効果は単にフタをする作用よりも少し時間がかかるといわれています。そのため、花粉症の症状がつかく、毎年かなり困る場合は飛散開始予測日の2週間程度前から服用を開始し、「抗ヒスタミン薬」のこの2つの作用をフルに利用するのがよいでしょう。

※お薬について分からないことは、気軽にお尋ねください。

第314回 春風狂句

4月号の笠は

「頑張った」「満足よ」です。

お一人三句以内で3月13日(金)までに
受付にお出してください。お待ちしております。



選者 国府 良貝

❁ 待ち遠しか 春の訪れ 外歩き

森 益代

(評釈) まだ 寒さの中にも 日差しの あたたかさを感じ
蛸梅ろうばいのかすかな匂い。何か 春の 気配の 増してきた
感じ。春はいい。みんな 屋外に出て さわやかな
春風を感じましょう。

❁ 待ち遠しか 夢にまで見た 甲子園

矢邊 義興

(評釈) 今年の春は 熊本工業。何か やってくれそうな
予感のする。本人たちの 夢の舞台。しっかり
本領を 発揮して 見事 優勝旗ば 持ってきて 欲しか。
しっかり 応援すっけね。

❁ 待ち遠しか 合格発表は まだ先ばい

杉野 裕志

(評釈) 今年一年 ようがんばってきた。本人も
手ごたえは 感じとるこたる。指折り数えて 合格通知ば
待つとるこたる。みんなでお祝い 盛大に やるよ。

たくさん投稿をありがとうございます。

評釈は、勝手なイメージで書かせていただいておりますので お気に召さない場合があるかもしれません。

お許しください。初めての狂句参加もお待ちしております。

❁ 信じとる 貴方からの プロポーズ

島 藤子

(評釈) あなたの ちよつとした 心遣い やさしさを 常日頃から
感じています。俺なんか どうせ 相手にされないだろうと
ちゆうちよしている あなた。私自身が 一番 望んでいることを
忘れないで。

❁ 信じとる 将来が豊かに なるように

田中 美智子

(評釈) 日本経済を 豊かにすることは 大切なこつばつてん
人の心が だんだん ギスギスしてきた 感じのする。
豊かして 何だろうて 国民一人ひとりが 本気で 考える
時期じゃ なるか。

❁ 信じとる 選挙公約 守ってよ 富田 敬子

(評釈) 急な選挙で 中味も 十分 吟味されとらん 感じのする。
選挙対策の きれいな事では すまん世の中。未来のため
痛みを伴う 改革も あえて 行う勇気が 必要ばい。



一人ひとりの生活に

寄り添ったリハビリの提供

はるかぜ訪問看護ステーション

訪問リハビリテーションは、利用者さんが自分らしく暮らすことができるように、ご自宅に出向いてリハビリテーションの提供を行う支援です。目標は一人ひとり異なり、各々に合わせた内容のリハビリを行っています。

今回、40代で右片麻痺を患っている患者さんの体の調子が良くなり、「知人と外出するためにバスや市電など公共交通機関に乗車したい」という希望がありました。訓練時の様子をご紹介します。



今回は実際に一緒に市電に乗って移動する練習を行いました。施設内や事業所内でのリハビリと違うのは、「実際の場所」「実際のもの」を使ってリハビリができることです。手すりの位置や、段差、椅子の高さなど、実物で訓練すると、「できる」という自信がつかます。今回も実際に一緒に市電に乗ることで、さまざまなアドバイスをすることができました。

利用者さんからも、「一人では恐くて行えなかったけど、一緒に練習ができて安心して行う事ができた。」「新しいチャレンジができて、今まで以上に自分の視野が広がりました」と嬉しい言葉をいただきました。



ただ身体を鍛えるだけでなく、患者さん一人ひとりの想いを形に出来るように、今後も取り組んでいきます。リハビリを受けている皆さんは、ぜひセラピストに自分の想いを伝えて下さい。想いが叶えられるように、一緒に頑張っていきましょう。

(訪問リハビリ 理学療法士 宮崎)

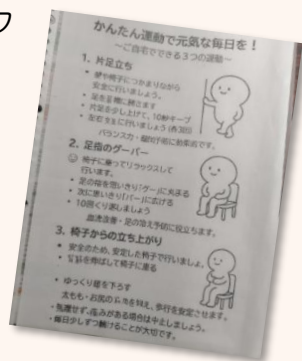
生活機能向上への取り組み

はるかぜ訪問介護ステーション

「生活機能向上連携」は、訪問介護のスタッフがリハビリ専門職と連携し、利用者さんの生活機能の向上や自立支援を促すことを目的としています。リハビリ専門職と協力し、自立支援の観点から一人ひとりに合わせた計画を立て、評価しつつ、継続的なケアを提供していきます。はるかぜ介護福祉ステーションでは、この生活機能向上連携に力を入れています。他職種で連携がとりやすい安心ネットワークがあるからこそ、私たちも安心して利用者さんとリハビリに取り組んでいます。今回は実際にサービスで行っていることをご紹介します。



リハビリスタッフから提案された体操 →



膝や肩に痛みがあり通所リハビリに通われている小川さん。

通所リハビリに行ったときだけ運動するのではなく、訪問介護での介入時にも、内服支援や環境整備の支援を行い、体調に無理のない範囲で体操や歩行練習を行っています。



ご自宅で不安に思うことがありましたら、ぜひ訪問介護スタッフにお声がけください。安心して日常生活が送れるよう、日々のサービスで一緒に体を動かしていきましょう。

春よ、こいこい



2月4日は立春。暦の上では春とはいえ、まだまだ寒い日が続いています。この時期、「福を呼び込み、春を待つ」ために、日本ではさまざまな風習があります。おなじみの豆まき（魔滅）をはじめ、恵方巻き（福を巻き込む）、柗翳（邪気払い）、福茶（無病息災）などなど。皆さんは何か行事ごとをされましたか？

看多機はるかぜでは、2月2日、3日と節分行事を行いました。利用者の皆さんといっしょに、まずは個性豊かな「鬼のお面作り」からスタート。完成した鬼の面を手に、準備万端。手作りのお面を身につけ、皆さんと一緒に「無病息災」を願っての鬼退治を行いました。

「鬼は外！福は内！！」と威勢のいい掛け声で豆をまき、心の中の鬼もしっかり追い払いました。行事が終わる頃には、皆さん晴れやかな笑顔で、たくさんの福が舞い込んだようでした。フロアが春のような温かさに包まれた、笑顔あふれる1日となりました。

今年も利用者の皆さんにたくさんの幸せが訪れますよう、私たちもしっかりサポートを続けていきたいと思ひます。



サービス付き高齢者向け住宅 杏心の丘

「はるか」を初収穫しました



1月19日、杏心農園で柑橘類の一種、「はるか」を初収穫しました。「はるか」は、3年前の2023年1月に杏心農園に植えたものです。過去の記事を振り返ってみると、2023年の3月号に「新しいチャレンジ」と題して紹介していました。

「はるか」は、日向夏の実生（種から育つ事）から選抜育成された品種で、平成8年に品種登録されたまだ新しい柑橘。レモンのような見た目に反して酸味が少なく、カットした途端広がる爽やかな香りで春の訪れを感じさせてくれる、と当時紹介させていただきました。杏心の丘入居者の竹中さん、光田ご夫妻にお手伝いいただきながら、この3年大切に育ててきました。猛暑が続き、夏は雑草に埋もれて木が見えなくなるほどの厳しい環境でしたが、そのなかでも着実に成長し、立派に15個の実をつけてくれ、植物が持つ生命力の強さに、改めて驚かされ、元気をもらいました。

いざ実食！確かにレモンのような色をしています。酸味はなくとてもジューシーで美味しく、まさに春先取りの爽やかな気持ちになりました。来年もたくさん実をつけてくれるよう、大切に見守っていききたいと思ひます。



←
2023年
1月



←
2025年
8月



2026年
1月→
↓



2月18日（水） 春日クリニック 防災訓練を実施しました

2月18日（水）、診療終了後に春日クリニックのはるかぜホールで防災訓練講義を実施しました。今年は、熊本地震から10年の節目の年。あらためて地震への備えについて考えようと、今回は「地震」をテーマにした防災訓練となりました。今回は田崎消防署より3名の消防士の方が春日クリニックへお越しください、34名の職員がリアルタイムで受講しました。

地震発生時には、“火を消す”“机に隠れる”といった行動は皆さん聞いたことがある地震発生時の対応かと思いますが、実際に突然行動に移すのは難しいものです。定期的に被災した際の想定訓練や、防災グッズの準備などをしっかりと行い、“もしも”の出来事に備えることが大切です。また、状況に応じてまずは自分自身の命を守る行動で安全を確保し、思いつく限りのことは全て行いましょう、という消防士の方の言葉がとても印象的でした。

いつ何が起きても冷静な対応ができるよう、引き続き、全職員で取り組んでいきます。



石井管理栄養士からレシピが届きました！

（現在育休中です）

ほうれん草と油揚げのごま和え

材料（2人分）

ほうれん草	200g
油揚げ	1枚
エノキ	20g
★みりん	大さじ1
★醤油	小さじ2
★上白糖	小さじ1
★和風顆粒だし	小さじ1/2
★すりごま	大さじ2
鰹節	適量

ポイントメモ！

油揚げをトースターで焼くことによって香ばしくなり、いつもの定番のごま和えを簡単にバージョンアップさせることができますよ♪

【作り方】

- 1) ほうれん草とエノキは熱湯で茹でた後、水気を切り、それぞれ3~4cmの長さに切る。
- 2) 油揚げはトースターでこんがり焼き、短冊切りにする。
- 3) ボウルに★を入れて混ぜ合わせ、さらに1)と2)を入れて和える。
- 4) 皿に盛り付けて、上から鰹節をかけたら完成。



熱量 129kcal タンパク質 7.0g 食物繊維 4.1g 塩分 1.3g 鉄 3.2mg

ほうれん草



鉄の含有量は野菜の中でもトップクラス。赤血球の形成に欠かせない葉酸や鉄の吸収を高めるビタミンCも含むので、貧血の人は積極的に摂りたいもの。β-カロテンや葉緑素のクロロフィルも豊富に含み、抗酸化作用も高い野菜です。冬が旬のほうれん草。冬採りのものは特にビタミンCを豊富に含んでいます。

湿らせたキッチンペーパーで根元を包み、全体をビニール袋に入れて冷蔵庫の野菜室で立てて保存することで鮮度を保つことができます。

栄養指導は保健師にバトンタッチして継続して実施します。お気軽にお問い合わせください。



美しい環境を整え、心を磨く。

美化委員

SDGs



企画・担当 経営管理部

「チラシで作ったごみ入れを活用してビニール袋は使わないようにする」「マイボトル・マイ箸の持参」「ペットボトルの蓋やチラシを活用した制作を行う（デイの制作活動）」などたくさんのアイデアが集まりました。

小さなことでも一人ひとりができることを心掛け、積み重ねていくことで、地球の環境を守ることへ繋がっていくと思います。今後もコツコツとSDGsの活動を続けていきます。



3月のテーマは『水回り清掃』 担当部署は 杏心の丘 です。

医療法人社団 清心会
〒860-0047 熊本市西区春日3丁目25番1号
URL : <https://seisinkai.or.jp>

1階	春日クリニック (2階 薬局・診察室) TEL096(351)7151 / FAX096(351)7152 診療科目:内科・小児科・リハビリテーション科・麻酔科(清田 武俊) その他: 女性専用外来(水曜日午後 予約制)、各種健康診断、 相談業務(更年期・禁煙・認知症・肥満・在宅ホスピス) 健康増進事業(産業医・生活習慣病講話・出張指導)
	春日クリニック訪問リハビリテーション はるかぜ通所リハビリテーション TEL 096(351)3551 / FAX 096(351)3559
2階	はるかぜ訪問看護ステーション TEL 096(351)6228 / FAX 096(351)6151 はるかぜ在宅介護支援事業所 TEL 096(322)7221 / FAX 096(351)6151
3階	法人本部(経営管理部) TEL 096(351)6225 / FAX 096(351)7154



地域包括ケア 杏心の丘
〒860-0047 熊本市西区春日4丁目18番28号

1階	看護小規模多機能型居宅介護はるかぜ TEL 096(352)1155 / FAX 096(352)2255 はるかぜ介護福祉ステーション TEL 096(323)5520 / FAX 096(352)2255
2階	デイサービスセンターはるかぜ TEL 096(326)1515 / FAX 096(324)5678
2階 3階 4階	サービス付き高齢者向け住宅 杏心の丘 TEL 096(326)2000 / FAX 096(324)5678
5階	杏心の丘壱番館